

こうふ町 議会だより



演技を終えてハイチーズ! (高齢者スポーツ大会)

議会のことをわかりやすくお伝えします

決算認定

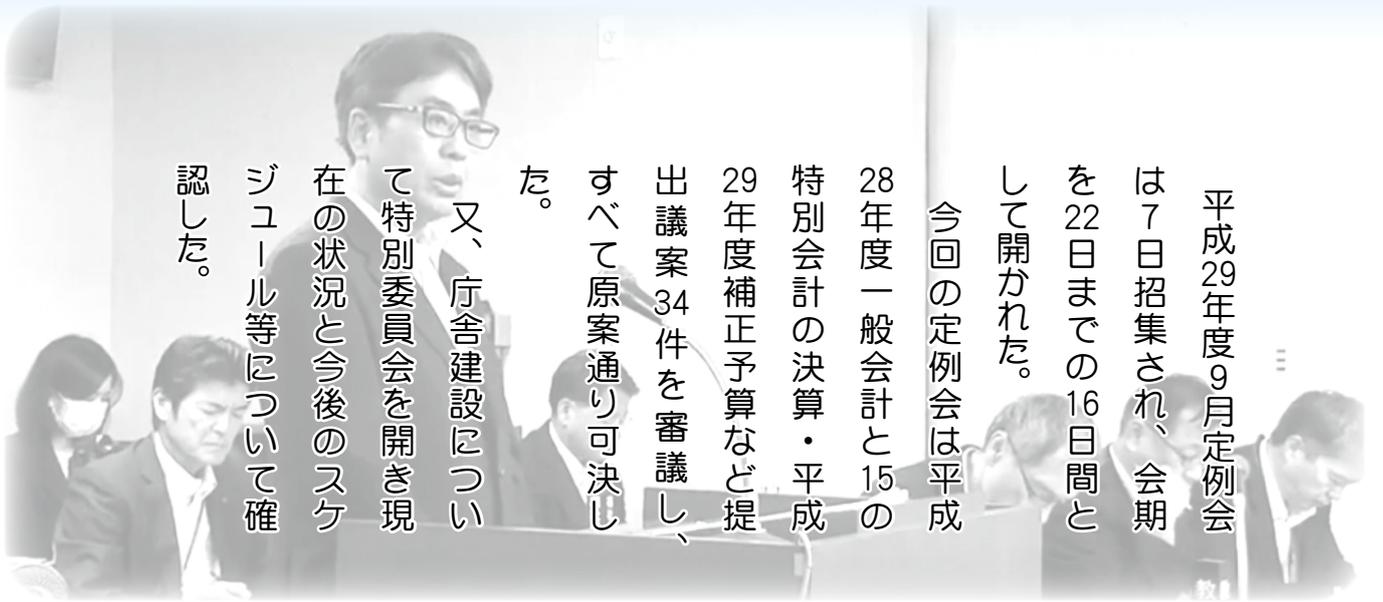
監査委員の審査意見	2P～4P
決算審査	6P～10P
一般質問	12P～17P
私のひと言	18P

平成28年度決算

歳出総額 52億1,718万円を認定

(一般会計 34億8,536万円

特別会計 17億3,181万円)



平成29年度9月定例会は7日招集され、会期を22日までの16日間として開かれた。

今回の定例会は平成28年度一般会計と15の特別会計の決算・平成29年度補正予算など提出議案34件を審議し、すべて原案通り可決した。

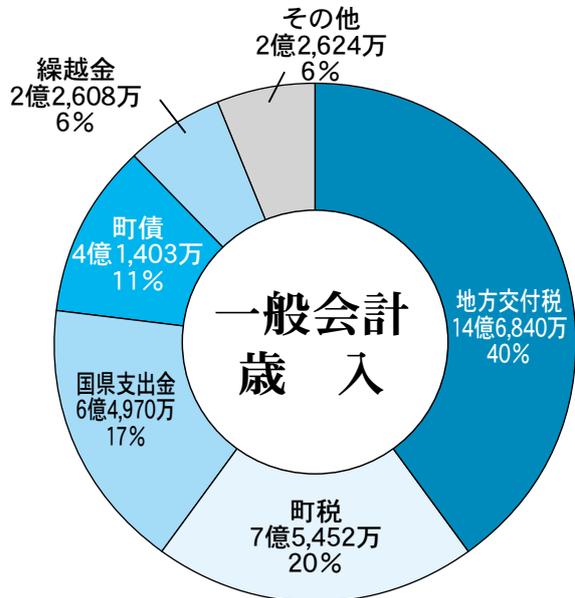
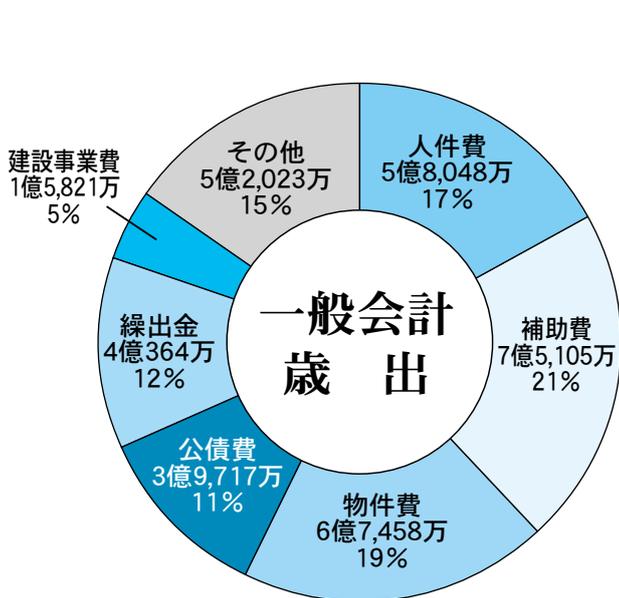
又、庁舎建設について特別委員会を開き現在の状況と今後のスケジュール等について確認した。

一般会計の状況

平成28年度の一般会計は、前年と比較し98,000万円の増となった。

この主なものは、し尿処理施設清化園建設負担金1億9,000万円、あやめの指定管理者移行に伴う負担金等1億1,000万円、川筋地区の地籍調査費8,500万円、地域おこし協力隊・移住による集落活性化事業等4,900万円によるものである。

基金の状況は、3,000万円増の12億9,700万円となっている。財政状況を示す実質公債費率は0.7%減の10%と改善した。平成31年度の庁舎建設に向け検討を進めたい。



昨年度の主な事業

事業名	事業の内容	費用
地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊による地域活性化事業で平成28年度末9名。	3,063万円
お試し住宅事業	町が10年間空き家所有者から無償で空き家を借り上げ修繕し（上限400万円）移住希望者に短期で貸し出すもの。	387万円
奥大山水工場整備事業	安全な製造のため、水工場にエアージャワーを設置した。	502万円
買い物福祉サービス支援事業	ひまわり号による買い物サービスと高齢者の見回りを実施(延べ4,436名の見回り)。	923万円
タクシー利用助成金	70歳以上で運転できない方のタクシー代1/2を助成（上限3千円、延べ利用者数2,763人）	240万円
プレミアム商品券事業	地元で買物をし町内でお金が循環することを目指し3,000万円買物が出来るプレミアム商品券を発行。ジャンボ抽選会も実施した。	641万円
「天の虫」のコミック化	小説「天の虫」をコミック化し特に若い世代に江府町を知ってもらった。約1,000冊販売した。	763万円
小学校プール改修工事	建設後42年たつプールの塗装等改修工事。	813万円
江府いもこ塾	中学3年生20名が週2回英語と数学の事業を受けるもので、3年生の8割が通っている。	528万円
下安井～舟場線道路事業	町道下安井～舟場線の新設のため測量設計を行った。	579万円
し尿処理場建設負担金	清化園が老朽化した為、隣に新しく汚泥再処理施設を建設している負担金。平成29年11月完成予定。	1億9,008万円
地籍調査事業	川筋地区の地籍調査事業	8,545万円

特別会計(15会計)の状況

平成28年度の特別会計は、5849万円の黒字となっている。しかし、これは一般会計から3億4132万円の繰り入れと前年度繰越金4437万円がある為であり、実際には大きな赤字となっている。

奥大山スキー場の索道事業は、2年続きの雪不足により一般会計から1793万円を繰り入れ赤字の補てんを行った。

水道事業に4990万円、下水道事業に1億1659万円を一般会計から繰り入れているが水道・下水道料金を現実的なものにするための政策でありほとんどの町で行っている措置である。

特別会計	歳入	歳出	収支	繰入金
住宅新築資金貸付事業	157万円	61万円	96万円	0
国民健康保険（事業勘定）	4億1,896万円	4億1,846万円	50万円	1,607万円
国民健康保険（施設勘定）	2億4,144万円	2億3,587万円	557万円	1,826万円
介護保険事業（保険事業勘定）	5億8,891万円	5億5,003万円	3,888万円	8,319万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	203万円	180万円	23万円	0
介護老人保健施設	5,676万円	5,676万円	0	2,017万円
後期高齢者医療	4,829万円	4,762万円	67万円	1,921万円
索道事業	6,476万円	6,476万円	0	1,793万円
簡易水道事業	1億956万円	1億839万円	117万円	4,990万円
農業集落排水事業	1億5,263万円	1億4,798万円	465万円	7,456万円
林業集落排水事業	655万円	566万円	89万円	443万円
特定環境保全公共下水事業	8,970万円	8,826万円	144万円	3,760万円
江尾財産区	269万円	29万円	240万円	0
神奈川財産区	235万円	166万円	69万円	0
米沢財産区	410万円	366万円	44万円	0
合計	17億9,030万円	17億3,181万円	5,849万円	3億4,132万円

<平成29年度 補正予算>

9月定例会に提出された平成29年度の主な補正予算及びその他

- ・道路修繕工事費 1179万円
- ・河川維持管理工事費 南谷川ライセンスター下他 652万円
- ・財政調整基金積立金 3000万円
- ・庁舎建設基金積立金 9100万円
- ・予備費積立金 1100万円
- ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画について（9割補助の有利な起債を借りる為の計画策定）
- 奥大山水工場の生産ラインの更新及び改良 400万円
- 広域農道道路肩補強工事 550万円
- 俣野地区簡易水道施設整備事業 2億5000万円

監査委員の審査意見



岡田雄成代表監査委員

平成28年度の一般会計決算の状況をみると、歳入総額37億3900万円、歳出総額34億8500万円で、歳入歳出差引額2億5400万円となっている。

まず歳出の面をみると、補助費、物件費、維持補修費等が増加したものの、建設事業費、積立金、人件費等が減少し、前年度に比べて9800万円率にして2.9%増加し34億8500万円となっている。

これに対する歳入の面をみると、町債、県支出金、繰越金、国庫支出金等が増加したものの、地方消費税交付金、分担金及び負担金、繰入金、町税等が減少し、歳入合計は、前年度に比べ1億2600万円、率にして3.4%増加した37億3900万円となっている。

財政状況を示す指標をみると、経常収支比率は、前々年度に比べるると3.5ポイント改善され、前年度に比べて2.5ポイント増の84.2%になっている。実質公債費比率（早期健全化基準25%以下）が10%と前年度より0.7ポイント改善している。将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すという、将来負担比率（早期健全化基準350%以下）65.1%と前年度より1.9ポイント上昇している。これはここ数年来の有利な起債の活用など財政健全化の取り組みの結果が表れたものである。

財政に関しては、着実に健全化の結果が見られている。今日の江府町においては、庁舎建設という目標をもつて、財政運営にあたることを期待する。また

留意事項

- (1) 町税の未納金の徴収に努力されたい。
- (2) 町営住宅の家賃等については、毎月一度督促をし、一定の成果を得ている。
- (3) 奥大山スキー場の管理運営について検討されたい。

将来人口減少社会では、地域住民が力を結集して、その課題の解決に取り組む必要があるといわれる。

江府町が取り組み始めた、「3000人の楽しい町」づくり事業に、関心と期待を持っている。そのプロジェクトチームで町民の意見を集約してほしい。そして、その実現に向けて職員が一丸となつて、一層努力されることを要望する。

政治倫理条例関係の報告

政治倫理条例第5条の1による報告義務によって記載

受付日付	平成29年10月5日	平成29年10月11日
企業名	(株) コーセン	(株) かわばた
請負と企業との関係	代表取締役社長	代表取締役社長
契約の内容	林道専用道後紬線新設工事(その2)	特定環境保全下水道工事(2工区)
請負の方法	指名競争入札	指名競争入札
契約金額	13,608,000円	13,608,000円

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、9月定例議会で審査した結果、下記のとおり決定しました。

件名	提出者	審議結果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	鳥取県教職員組合西部支部 支部長 藤本敏秀 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 藤波敦夫	採 択
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳	採 択

一般会計

Q ふるさと応援基金の活用はあるか。

A いまのところは特別ありません。

Q 公共施設等建設基金と庁舎建設基金を分けているのは。

A 深い意味はない、いざと言う時に振替えをします。

Q 旧明倫小学校の草刈りなど管理について。利用実績のある町青年団に助成金を出して管理を依頼してはどうか。

A 検討いたします。

Q 高齢者見守りの要件と打合せはどのよう

A 70才以上の独居者。役場、社協、町内移動販売事業者で、月2回以上連絡会をもっている。

Q 新甘泉の状況と収穫予定は。

A 28年10月に植えた苗木180本をジョイント方式で栽培した。30年の秋収穫予定です。

Q コンニャク栽培の現況は。

A 排水対策が困難で収量が上がりず、作付面積は減少しています。

Q ブランド化を進める米、ムギ、ソバなど生産組織を一体化すべきでは。

A 農業公社で一括すれば町としても支援しやすくなります。

Q コミュニティ助成事業で不採択となった集落や団体へ申請要領の指導は。

A 今後は、フォローしながら指導していきます。

Q 子供の国保育園の職員は何名か。

A 正職7名・嘱託10名・パート3名。

Q 電子黒板の効用は。

A 生徒のノートが映し出され、表現力がついてきた。



電子黒板を活用した江府小学校の授業風景

決算の

Q 監視カメラの設置状況は。

A あやめには5カ所設置している。保育園は不審者用に設置している。小中学校には設置していない。

Q 旧給食センターを小江尾の避難場所に利用したら。

A 参考にします。現在は「放課後ごども教室」に活用しています。

Q 日野町は日野高校に配置しているコーディネーターの活動を町報に載せているが、江府町も、もっとPRすべきと思う。

A コーディネーターが関係している事業等が行われた時に町報でPRしている。

Q 情報システムの一本化はいつ頃か。

A 実現した時のコスト削減の予想額は。

A 今年度より開始。平成33年より共同開始を目指して進めている。コストについては大きく削減が予想できるが金額は未定。

Q 公営学習塾の現状と効果は。

A 中学生のやる気の上と保護者の反響も大変良好である。

Q I・Uターン同様に町内の人への補助をすべきでは。

A 要望があれば今後検討したい。

Q シルバー人材利用実績と動向は。

A 現在の会員数は60名位です。年間収入800万円だが年々減少している。

Q 堆肥センターの実績状況はどうか。

A 成分が良く、取扱量がふえてきている。

Q 下安井く舟場線の工事着工はいつか。

A 平成29年度より日野町と江府町の境から測量開始。工事着工は平成34年度予定。



いもこ塾の学習風景

決算の審査

特別会計

住宅新築資金等 貸付事業

Q 滞納者の回収状況は

A 個々の事情を考慮し
本人が返還しやすい
よう考えて対応している。

国民健康保険 (事業勘定)

Q 平成30年には国民健
康保険が県に一本化
になるが保険料は上がる
のでは

A 3年間の激変緩和措
置があり急激に上が
ることはないと思う。

国民健康保険 (施設勘定)

Q 武地医師の負担を下
げるために今年新た
に事務長を配置した
がミーティング等は行
っているのか

A 町長、医師も含めて
医局会議を行っています。
ます。

介護保険事業 (事業勘定)

Q 介護認定者数の推移
は

A ここ数年あまり変化
はありません。

簡易水道事業

Q 全町、町水道になっ
たが古い水道施設で
改修の必要なところが出
てきているのでは

A 大河原がかなり古く
なっているので改修
の必要がある。

農業集落排水事業

Q 川筋地区農業集落排
水と公共下水道との
接続の今後の予定は

A 28年度は国道の配管
工事を行った。29年
度は残りの配管工事を発
注予定です。30年度は川
筋処理場の改修を予定し
ている。



跡地利用が検討されている川筋処理場

一般会計決算特別委員会 参考意見

一般会計

江府町の平成28年度一般会計決算は34億8,500万円であり前年度対比103%となっております。

また平成28年度決算における実質公債費比率は10.0%となり、平成27年度より更に0.7%改善され早期健全化基準とされる25%を相当下回っております。

地方創生の総合戦略をしっかりと構築しながら「30000人の楽しい町」づくりに向けて、行政・議会・町民が一体となって住民の福祉の向上実現と確かな財政運営に努力されたい。

総務課

将来の適正な職員数を多角的に検証され、人件費の抑制・仕事の見直し・情報の公開等、総合的に検討し今後の役場のあるべき姿を構築されたい。

福祉保健課

小学生・中学生のインフルエンザの接種は、町独自の施策として無料化に向けて検討願いたい。

奥大山まちづくり推進課

関西交流会は参加人数が極端に少ない状況なので、江府町フアंकクラブのような新しい組織作りを検討されたい。

うまいもん祭りに参加する出店者の参加料について再度検討されたい。

住民課

交通弱者対策の観点から、タクシートの利用頻度が増加している状況である。更に利用者の利便性の向上を図り、高齢者の安心・安全な足としてのタクシーになるように取り組まれたい。

農林産業課

積極的な農業を行う為、早急に組織作りに取り組みたい。

農業公社のあり方について再度検討願いたい。

農業委員会

農業委員会の再編による新たな委員が、農地パトロール・耕作放棄地の指導に今まで以上に、農地を守る番人として積極的に取り組まれたい。

建設課

地籍調査が集落によっては、山の部分に作業がかかっている所があると思われませんが、急峻なところも多く、作業員・推進員の安全に十分配慮し作業に取り組まれたい。

教育課 学校給食

昨今の子どものたちの食生活の変化によって学校

給食においても、食物アレルギーを持つ児童・生徒に対しての代替食を提供されておりますが、場合によっては命に係わることであり、引き続き細心の注意をお願いしたい。

教育課 図書館

庁舎建設に伴い図書館について検討されたい。

子供の国保育園

保育園・小学校・中学校の連携が子供への教育にとって、大切と考えられる。今後、より一層緊密な連携をお願いしたい。



図書館内おすすめコーナー

特別会計決算特別委員会 参考意見

特別会計

住宅新築等 貸付事業特別会計

貸付金滞納者に対しては毎月訪問による納付依頼をしているが引き続き努力されたい。

国民健康保険 特別会計

①高額医療費が増加傾向にある。透析患者等の対応を含め住民健診の受診率を上げるとともに受診後のフォロー体制をしっかりと進められたい。
②待ち時間の解消に引き続き努力されたい。
③今年から新たに配置した事務長を中心に施設全般に渡って諸課題にしっかりと対応されたい。

介護保険事業 特別会計

①介護予防事業が27年度より保険法が改正になつていよいよ28年度から本格的に取り組みが始まった。町内介護施設等も活用してしっかりとした事業展開をして頂きたい。
②施設入所の待機者に対し、ケアする必要があると思われるので対応されたい。

索道事業特別会計

奥大山スキー場の運営をエバーランドと合わせて、指定管理委託に向けて迅速かつ確実に進められたい。

簡易水道事業 特別会計

水道施設がかなり老朽化してきたとの事。改修が必要と思われるところから順次改修されたい。

農業集落排水 事業特別会計

今後必要なくなる川筋地区の処理場の再利用については、庁舎建設計画と絡め慎重に検討されたい。



福祉交流センター江美の郷

庁舎等公共施設建設 調査特別委員会

当委員会を平成29年9月19日に開催した。

内容

- 平成30年度に設計予定。
- 年度内に数回住民参加の公開ワークショップを開催し、意見を集約する。
- 新庁舎の周辺整備を国や県に要望する。
- 概略設計後、住民説明会の開催。

事業は、「市町村役場機能緊急保全事業」で行う。

日野病院組合議会報告

平成28年度病院事業等の決算について承認された。

医療収支については、患者数の減少で、一人あたりの単価が増加したこと等により平成27年度と比較し、1億1275万円の増収となった。

※「医療収支」

診療報酬等を収入とし、医療にかかると給与費・経費等を支出した収支

企業誘致調査特別委員会

当委員会は、平成29年9月15日議会議場においてサントリースプロダクツ（株）より天然水奥大山ブナの森工場における厚生棟建設計画について次の報告を受けた。

目的

- ・現在工場に不足する機能の補完

内容

- ・魅力ある食堂(収容人数100名) + 厨房
- ・社内コミュニティや地域貢献多目的ホールとして利用できる大会議室
(収容人数：最大150名)
- ・来場のお客様ウエイティングエリア
(収容人数：30名)

建物概要

- ・着工 平成29年9月
- ・完成 平成30年5月
- ・延べ床面積898㎡（2階建）
- ・内装材については共生の森から発生する間伐材を出来るだけ使用

日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告

総工費16億7,000万円の下水処理センター「清化園」は無事完成し、12月20日竣工式を迎えることになりました。

平成28年度の決算について承認可決された。

歳入歳出とも汚泥再生処理センターの建設工事により大幅な増額となりました。

歳入総額 10億5,017万円

差引残額 1,305万円

主な歳入

分担金及び負担金 7億6,692万円

国庫支出金 2億6,824万円

繰越金 1,261万円

各町負担内訳

日野町 2億5,760万円

江府町 2億4,358万円

歳出総額 10億3,711万円

※残高は、次年度に繰越し

主な歳出

総務費 1,141万円

衛生費 9億8,768万円

公債費 3,773万円

日南町 2億6,573万円

町政ここを問う

一般質問

一般質問は6人の議員が行い、町長の方針をたじた



阿部 朝親

人口の半数に 及ぶ高齢者対策は？

問	答
高齢者対策について	地域包括支援ケアシステム構築が重要

質問 本町では65歳以上の高齢者が、3月末で、44%となっており、14年後の2031年には50%とシミュレーションされ、この人口の半数に及ぶ高齢者に対してどの様な対策、対応を考えておられるか。

また、介護対象者の中には、介護サービスの利用料の負担が出来ないため、受けたいサービスが受けられない方もあると思います。

すべての高齢者が江府町に「住んでよかった」、「安心して老後が送れる環境づくり」、また、「3000人の住みよい町」づくりの一環として、施設入所者、在宅介護者の方々の支援等についてはどの様に考えておられるか町長の所見を伺う。

おいては、地域包括ケアシステムを確立し運営することが最も重要な高齢者対策であると認識しています。

本町では、包括支援センターを中心に江尾診療所・社会福祉協議会・社会福祉法人尚仁福祉会・いこいの広場らんちゅうなどと連携し細かな対応が取れるよう努力しています。

また、介護対象者の中には、介護サービスの利用料の負担が出来ないため、受けたいサービスが受けられない方もあると思います。

また、江府町の全ての高齢者を対象とした江府町老人福祉計画や第6期介護保険事業計画があり、現在第7期の計画を作成しているところです。

町長答弁 江府町のような中山間地で小さな自治体に

介護の支援は、介護保険の枠組みで行うのが、基本であると思っ

ていますが、それ以外に何か可能なことがあ

ればご意見を伺いながら検討をまいります。

動画で一般質問



阿部議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。



敬老の日のお楽しみ（老健施設あやめ）

我が町づくりの人口の安定と くらしの安全・安心の具体的な手法は



川端登志一

動画で一般質問



川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

問	町職員の町内居住リーターシップは
答	前向きに検討する

質問 町職員の4分の1が町外から通勤している現状を認識しているか。何人かでも町内の空き家を利用してはいかがか。

町長答弁 状況は重々承知している。難しい面もあるが前向きに検討する。

質問 町外から人を呼び込むことも大事だが、出ていくことを防ぐのはどのくらい重要か。

町長答弁 大事なことと思う、複雑な面があるが一緒に頑張って勉強していきたい。

問	飲用水の無料化は
答	合意形成が出来れば可能

質問 移住定住の呼び水として飲用水の無料化は

町長答弁 今のところその考えはないが、町の中で合意形成ができれば可能になると思う。

質問 生まれればかりの赤ちゃんや長期不在者の下水道利用料金の

算定基準見直しは。

町長答弁 赤ちゃんに関しては奥大山の水を一年間お届けている。入院とかやむを得ない事情のある方は減免している。

問	住民の健康増進についてウォーキングを勧めてはどうか
答	ウエルビクスを推奨している

質問 もっと多くの町民の方にウォーキングを勧めてはどうか。

町長答弁

平成18年度よりウォーキングと同様な有酸素運動効果があるウエルビクスを推奨している。

質問 江府町の男女の健康寿命の数値は、また全国との比較は。

町長答弁 数字を出してみたい。

問	水路や側溝のフタかけは
答	交通量や利用状況に応じて

質問 町内道路や歩道の総点検再整備の考えは。

町長答弁

平成25年度から27年度にかけて町道全線の法面点検を実施した。結果26か所に対策が必要と判定した。随時対応している。その他についても、集落総合点検で公共施設の修繕に多くの要望があつた。危険度、緊急度を勘案して優先順位をつけて手当をしていくことが必要であると考えている。

質問 歩道内の障害物の除去について。

町長答弁

段差、ひび割れ、雑草など発見確認次第対応している。歩道の状況については再度点検を実施する予定です。

質問 水路や道路側溝の蓋かけは。

町長答弁

水路は法定外公共物なので地元の方に管理をお願いしている。道路側溝、側溝蓋については基本的に蓋を設置しないが、歩行空間や路肩の確保など交通量や利用形態に応じて検討しながら設置して行く。



修繕が必要な道路側溝

集落総点検の目的と戦略は



空場 語

動画で一般質問



空場議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

問	集落総点検 そのねらいは
答	全ての住民で 町づくりを

質問 あまり類例のない思いきった町づくりの目的は。

意見、要望を何年かかってもすべて解決するのか。

予算をどのように見積もっていくのか。実行には、未来への投資と考えて、思いきった予算を組んではどうか。

町長答弁

住民全体の町づくりを、世帯主だけで意見を言い決めるのではなく、全ての住民が、地域づくりの方向性をさ

問	江府町の観光 事業について
答	積極的に 取組む

質問 予算、財源には限りがあるが、総点検で出した意見をミックスして予算編成に取り組みます。

質問 町を発展させる事業が観光事業と考慮しています。今年度の予算が大幅に増えているが、江尾十七夜以外に

さまざまな世代の住民が、自由にしっかりと意見交換し、情報を共有してやっていきます。

すべての要望に等しく対応するのは、難しいが説明はしていきます。

町長答弁

江尾十七夜をはじめ、最近では、サントリー天然水のコマージュルに関連のPR活動を道の駅とのコラボで実施して好評です。御機の茅ぶき小屋の改修を実施します。

来年には、大山開山千三百年祭に向けて取り組みます。

問	人材育成と 健康管理は
答	若手の登用と サポートを

質問 最近、役場を辞められた若い職員があられます。

職員へのメディカルチェック、サポートについて伺いたい。

町長答弁

昨年に、20代、30代の意欲ある職員をフーキンググループに任命した。

20代、30代を含め役場には165名の職員がいますが、2040

年は人口18000人の町になるうとしています。その時にも残っている人達です。職責に応じた仕事をしていた

べく、健康面のサポートは必要と考えております。

具体的には、事業所



奥大山うまいもん祭

検診、人間ドック、診療所武地先生に、産業医として健康相談を2ヶ月に1回設けて、相談に乗っていただいております。

その他にも、超勤の多い職員にストレスチェックを行いメンタル疾患の予防に努めています。

ふるさとの魅力を生かした 楽しいまちづくり



森田 哲也

動画で一般質問



森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

問	江府町農業の展望は
答	観光事業との連携を図る

質問 本町農業は、高齢化等急激に進行する中、今の農業振興では、限界を感じる。本町の特徴を活かし、観光事業との連携を開発し、販売方法の拡充を図る必要がある。

経営プラン、経営実践・企画など専門組織を立ち上げる時と考える。農業公社を大改革し、江府町農業の先導役としてはどうか。

町長答弁

農業で集落を維持していくことが、江府町農業の基本だと思う。そのため集落営農を推進していきます。大事なことは売り先を意識した経営が必要。観光事業との関連は大切です。専門組織は、農業関係者と協議し、新たな農業戦略を考える会を作っていく。

問	医療体制の充実と搬送体制の構築は
答	助成等を検討し、体制を構築

質問 以前から医療体制の充実を言われている。特に小児科は、子

育て世代や、ＩＵターナー者には一番の問題点。しかし現状では、米子市内等の医療機関を含めた体制作りが現実的ではないか。総合病院への紹介状や、高速道路料金の助成など、米子市内の医療機関を、身近に感じる施策を考えてはどうか。また、交通弱者等が日常的に利用できる搬送体制の構築が必要と考える。

町長答弁

本町のような中山間地域では、緊急時の搬送体系は、救急車以外での仕組みづくりも考えたい。

また、医療体制の充実が困難な現状の中では、特に小児科の充実を考えたいとき、紹介状の助成や、高速道路料金の助成は、前向きに考えたい。

問	副町長の役割と臨機応変な体制は
答	副町長は、組織には重要

質問 町民から過疎化が進む中、副町長の必要性を問われた。その重要性は。また、限られた職員体制で、臨機応変なシステムづくりを考案するなど、多様な社会状況での中枢機能が

的体制の確立について。

町長答弁

副町長は、住民と町長とのつながりや政策を組織や職員の中にごう浸透させていくかなど、組織のマネジメントとして重要。臨機応変な組織については、すでに若手のプロジェクトを立ち上げており、新たに別の組織の構築は難しい。管理職会議を活性化し、対応していきたい。



江尾診療所で健診を受ける様子

江府町の観光振興策は？



三好 晋也

動画で一般質問



三好議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

問 江府町の観光事業について財政上庁舎建設を優先

質問 まちひとしごと創生総合戦略において観光振興策として町内入込客30万人とあるが現状はどうか。



七色ガシ案内看板

町長答弁

平成28年実績は25万4000人です。内訳は道の駅が14万人、休暇村奥大山が10万人、奥大山スキー場が1万人です。

質問 江府町過疎地域自立促進計画、これは

平成28年度から32年度までの5か年計画だが町内観光案内看板の整備に730万、江美城跡公園事業に1000万、奥大山古道整備事業に800万、旧江尾発電所整

備事業に510万、この4点について事業の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

町長答弁

過疎計画を作った時点においては財政的に可能であれば実施するということだと思いますが現在進捗していません。観光振興の重要性は認識しているが喫緊の課題である庁舎整備を優先させたい。ただし財政状況を見ながら可能であればやりたい。そうでなければ若干先送りさせていただきます。

質問 十七夜物語「天の嶺」は観光振興に役立ったと思うか。

町長答弁

お酒やポロシヤッなどを作りその後コミックや歌を作りそれをまた、十七夜でいろいろプロジェクトションマッ

ピングとかをやった。単なる本で終わらず地域おこしにつながっている評価している。

質問 七色ガシの周辺整備に予算計上してあるが。

町長答弁

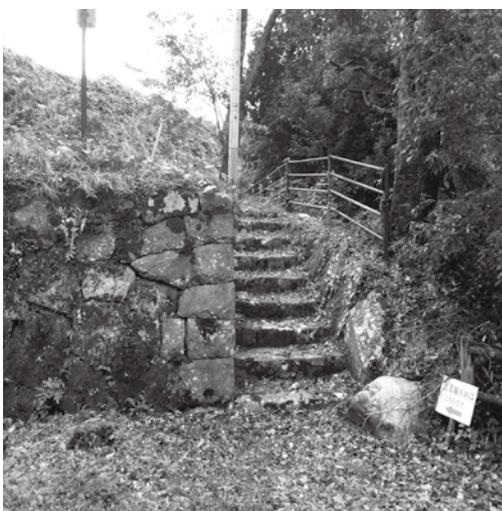
まだ、整備しておりません。今、業者に頼むようにしておりますが、他方、集落の皆様が委託料を払って整備していたいたほうが集落のためにもなりま

すし思いもしっかり取り入れて整備できると思います。区長さんはじめ関係者の皆様と現在協議しているんです。

質問 江美城跡の看板が老朽化して危険だということでも現在撤去されたままだが。

町長答弁

見解の相違があるかもしれないが、いいと私は思っています。



整備が待たれる江美城跡

※プロジェクトションマッピングとは：コンピュータで作成したCGとプロジェクトの様な映像機器を用い、建物や空間などに対して映像を映し出す技術の総称をいう。

実現可能な施策から 町民目線で前向きに



三輪 英男

動画で一般質問



三輪議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

問	人の健康と 人事評価は
答	メンタル対策 と公正な評価

質問 職員の心の病に対して過度の業務・過度な責任分担の在り方について、また人事評価の適性な対応はどのように。

町長答弁

過度な労働をさせないことは、管理職の務めと考えております。また、人事評価に関しては、評価制度をきちつと導入して、そして職員のあり方についての情報を共有しながら適性な職務配置を考えてまいります。

問	移動期日前投票車導入は
答	導入には慎重に対応

質問 国の「移動支援」が新たに新設され、加速度的に各地で導入されておるが、さらに多角的に検討され、導入の方針は。

町長答弁

北栄町の選挙管理委員会に、総務課長を派遣させ状況を把握させ、結果として全体的に目立った投票率の変化がなかった。意見は選管に伝えて協議していただきたい。

問	遊休農地を活かす方法は
答	ソバの生産 振興を図る

質問 遊休農地を活かした6次産業化推進事業は企業にとつては、新たな税負担の優遇措置であるばかりか、雇用の受け皿として期待したいが、現状の方向性を伺う。

町長答弁

遊休農地を活かした、6次産業化推進事業といたしましては、昨年8月に地域再生計画として、ソバを新たに地域戦略作物に位置付けて、奥大山あるいは水の町といった自然が豊かで清らかだというブランドイメージを確立させて、生産振興と6次産業化の推進を図ろうとしたものです。結果として地元雇用が増えることを期待します。

問	庁舎建設行動プランは
答	特別委員会で概略公表

質問 新庁舎建設について町民の関心事は交通の利便性の確保であり、早急に全体像の方向性を出されて、行動プランを公表されたい。

町長答弁

進入路の話とか河川の話とか色々ありまして、県への協議というのは実際もう始めており、町民の皆さんの期待に沿えるように努力するつもりであります。庁舎等調査特別委員会を踏まえて、機会を見つけて公表させて頂きたいと思っております。



町内初導入のソバ刈りコンバイン（笠良原）

ひとこと



江尾 中川久美子

大好きな町で生きていく

「町なかに、気楽に集まってお茶でも飲めるところがありゃあ、いいなあ。」
 「バス待ちにうどんでも食べられる店がありゃあ、いいなあ。」
 「なんてことが、40年お世話になった役場を退職して、家でふらふらしていた私に、気の置けない町の仲間たちとの飲み会で話が出た。」
 「駅前なんだけん、しないや。」
 「バス待ちのおばあさんたちが喜びな〜じえ。」などなど。
 「家でよければ、なんほ使いたすけん。」
 「いやー。普通の家じゃあ、入りにくいけん。」
 「そげそげ、やつぱり店じゃないとなあ。」
 「じゃあ、店にすーがん。」
 「そげかあ、そりゃあいい。いつからすーだや。」
 「うーん・・まあ、春ごろかなあ・・？」
 「ここまで話が進むと後へ引けないことになった。」

毎年、どんどん減り続ける町の人口。生まれて育ったこの大好きな町でもう少し、できる限り楽しく、濃ゆく生きたいと願っている。

先日、OBの大先輩と9月定例議会を傍聴した。改選後の議会は、10名中4名が新人議員。いい緊張感の中で、質問する側も、答弁する執行部側も真剣な問答が行われた。しかし、そこはもう少し深い議論がほしいなあ。惜しいなあ。と、勝手な思いが頭をよぎる。当然ながら人が替わると、やはり見方が変わる。ずっと大切にしていくこと、変えていくことは、やつぱりある。久し振りに刷新された江府町議会。私たちの期待も高まる。歌手の宇多田ヒカルさんが、CMで登場して一躍脚光を浴びた奥大山は、何万年も前から美しい神秘の山だった。見る場所によって劇的にその姿を変える右肩上がりの奥大山。
 この町でそんな奥大山を眺めながら、いつまでも自分のできるどんな小さな事でもやっていきたい。いつも暖かい地域の方々、心許せる大切な仲間たちとともに。見方を変えて、真剣に、そしてなにより熱い思いをもつて。

地元地域との共生



天然水奥大山ブナの森工場長 吉村 孝博

奥大山ブナの森工場は本年3月より新ラインが稼働、6月よりリニューアルした工場見学の見学開始など、新たなスタートを切ることが出来ました。
 また、来年操業10周年を迎えるにあたり「地元地域に愛され、皆の心を豊かにする工場」、白石町長が掲げておられる「3000人の楽しい町」づくりの実現に向けて従業員全員で取り組んでおります。
 新ラインでは、来年江府町産の果実を使用

した新製品で奥大山の恵みのすばらしさを、工場見学では、奥大山そのものが水の工場で良質な水を育む豊かな自然とその魅力を、発信してまいります。
 また、来年の5月に完成する厚生棟では、従業員の食堂に加え、多目的ホールを設け、ホールコンサート、ウイスキーセミナーなど食や文化を通じ、地元地域の皆様と交流する場も設けます。
 今後より一層、地域のお役に立てるよう従業員一同張り切ってまいりますので皆様のご支援をよろしくお願いたします。



★急に朝晩の冷え込みが季節感を肌に滲みる頃になりました。いよいよ、冬支度の準備に忙しくなる日々が到来です。

★新庁舎建設

- ・平成30年度に概略設計・実施設計、議会および住民説明会を実施予定。
- ・平成31年度、平成32年度に新庁舎工事着工及び完成予定。
- ・平成32年度末までに新庁舎に移転予定。

★江府町議会は、新人議員4名を加えて活発な議会活動に努め、議会だよりを通して情報提供に今後も努力してまいります。

三輪

広報公聴常任委員会

- 委員長 上原 二郎
- 副委員長 三輪 英男
- 委員 三好 晋也
- 川端登志一
- 森田 哲也